

A. 日 時 2016年2月22日 曜日 17時30分～19時30分

B. 場 所 本会会議室

C. 出席者 松本主査、他12名

D. 提出資料 (提出委員名も記入して下さい)

No. 12-01 : 第11回環境振動性能評価小委員会 議事録(案)

No. 12-02 : 資料① 修論発表PPT

No. 12-03 : 資料② 説明に関する先行研究(第1章抜粋)

No. 12-04 : 資料③ 顔グラフによる揺れ性能の分かりやすい表現に関する一考察

No. 12-05 : ユーザー表現事例(資料取り扱い注意)

No. 12-06 : 振動の言語表現(案)

No. 12-07 : 土工協委員会資料

No. 12-08 : 建設委員会資料

No. 12-09 : 擬音語からイメージされる音の印象および音源・事象の認知に関する研究

No. 12-10 : 振動実測事例報告

E. 審議事項

1. 議事録確認

資料12-01「第11回環境振動性能評価小委員会 議事録(案)」について報告

A) 前回委員会議事録内容の確認

→ 承認された

2. 運営委員会活動報告

A) 運営委員会報告

※ 2016年度環境振動シンポジウムについて

→ 2017年1月27日(金)に開催予定

※ 2016年度大会について

→ 8月24日午前に環境振動評価に関するパネルディスカッションを予定

B) ISOに関する活動について

※ ISO 6897改定について

→ 前回の本小委員会以降動きなし

3. 議論

A) 資料 12-02～04 環境振動の説明性向上に関する研究に関して報告

※ 建築主の意識に関する調査研究

-
- 擬音語擬態語は揺れの方向（水平/鉛直）を如実に表すものもある
 - 用語によって大きさのイメージが変化するがアンケート結果はほぼ正規分布に沿う

B) 資料 12-05 「ユーザー表現事例」に関して報告

※ 実測事例紹介

-
- 振動三成分の加速度、フーリエ解析結果、居住性能評価指針へのプロット
 - 振動の特性（波形特性）により、使用者や管理者等の振動に関する表現方法に差異が見られる

C) 資料 12-06～09 「振動の分かりやすい表現法検討に関する一連の資料」に関して報告

※ 振動表現の整理

-
- 「オノマトペ辞典」等を参考に擬音語/擬態語を整理
 - 衝撃性、連続性、周期特性、重量感（慣性力/質量）等で分類

※ 環境振動の見える化に関する今後の活動

-
- 擬音語/擬態語のみならず具体的な項目を追加するとより振動表現としては分かりやすいかもしれない（例：重いものが落ちたようなドスンとした揺れ等）
 - 今後も振動表現について「イラスト」「言葉」等を用いて視覚的に訴えかける方法を検討

D) 資料 12-05 「振動実測事例報告」に関して報告

※ 実測事例紹介

-
- 鉄道振動を対象とした iPad を用いた簡易計測の結果をまとめた
 - 実測値をもとに評価指針より振動の知覚割合を算定すると、現場にいた委員の感覚と相違が見られた（鉛直振動と水平振動のコンパインの影響も考えられる）

4. 次回以降の課題

※ 「居住性能評価指針」と「設計指針」の位置づけについて、評価指針への提言

※ 環境振動に関するホットな話題を随時募集

※ 評価 WG での活動内容の報告

※ 水平振動と鉛直振動を分けて考えているが？（交通振動に着目すると、水平と鉛直の両研究があるので関連付けることは可能か？）

※ 環境振動の見える化

次回の小委員会は、2016年5月20日（金曜日）17時30分より本会会議室で開催します。

資料を提出される方は、あらかじめ準備（14部）されるか、もしくは2日前までに本小委員会のオンラインストレージまでアップロードお願いいたします。